

① 今日の感想は？

ア、よく分かった 6 イ、難しかった 1 ウ、いまいちだった 6 エ、その他 3 未記入 3

・課題など何も知識がなかったので、とても勉強になりました。参加者のご意見よかったです。

・鈴鹿市の取組が理解できた。ありがとうございました。

・初めての企画でとてもよかったです。もう一度(自分が)考える機会になりました。

・省エネの目線から電力削減は地球規模のテーマなので、「やれることを始めよう」から全員がスタートする機会づくりが不可欠。担当行政さんも、ご自分のテーマとしてやれることをやる。提案活動を期待する。

よく分かったことは、行政、事業者とも排出量のみ観点からしか考えてない！パネルを設置することによって、グリーンを減らし回りを熱風にさらしているのか！もっと先の先まで目を向けて、今の自分たちより子孫の世代までの負担を残さないように考えるべきである。市・行政は「太陽光パネル設置ありき」しか考えてないように思います。

・今まで何も考えずに電気を使っていましたが、もう少し色々な面で協力してゆきたいと思います。

・政府は原発をロードベースとして存続させる方針。そのため再エネを抑える政策を実施。やるのが真逆ではないか。

・太陽光パネルだけではだめですね。小さな水力発電、小さな風力発電の活用、「湯わいたー」などの太陽光の温水作りは安全ですね。自転車が安心して走れる道路整備をしてほしい。

・①エネルギーは現在の中心的産業であるが、管理が充分に行われていない、利益追求の産業から、人々の生活の根幹をにぎる産業として、政府が直接管理運営する産業にすべきである。②太陽光パネルは現在プラスチックなどの安易な材料が使われて、石炭石油産業の主な生産物であるが、公的な管理のもとで恒久的素材(例えばガラス製品)などにして、原料生産の段階での有害物質の生成を止める(または低減)させるべきである。③地球全体の大気循環を正常化させるために、大地を緑化することによる CO2 の回収を国民運動化することを重視すべきである。

・CO2 減らす目的は必要。本日の説明会は、はっきりせず、まだまだ道のりは遠い。活動が遅い。個人的な作業は微々たるものです。

・自らが CO2 を日常の生活の中から減方針を！毎日の各自車の稼働なしでは生活ができない。これが大変で、一番各自の車から CO2 が排出されている。地域地域での利用しやすい車稼働を考えるべきである。オンデマンド方式。

・鈴鹿市は先進的な取組がない。行政自体の CO2 排出削減はできても、市自体はどうか。産業への働きかけがみえない。・地産地消は何事においても大事だが、地産のものが買えなくなる危機が来ているのにもっと力を入れてほしい。・フードドライブも、庁舎 4 階のみ、市民センターなど公共施設に拡大すべきでは？企業とも連携してほしい。困窮家庭は増えている。うまく回してほしいと思う。

・数字だけ読み上げられても分かりにくいです。ソーラーパネルのことは色々テーマはありそうですね。計画されているリニア新幹線については、さほど必要性もなく、いらないですね。産業発展はもう必要ないです。その結果が今のてんまつです。

・行政の取り組みもまだ始まったばかりということがよく分かった。市民と協働で前進させていくことが必要だと思った。

・省エネ→節電。市役所での残業、土日出勤も減らし、働き方改革含め節電したらどうか。

・国の計画を市民に伝えて ごまかすのではなく、小さくても市の独自計画を持つべき。そういう話を聞きたかった。

・詳細な計画がわかりづらい。・電力会社を運営する鈴鹿市として、年度毎の計画、リスクは、市民や他市他県との充実した連携会議が必要。・経営に携わる人材が3年ごとに変わる人事では、長期中期で任せる人の維持・

・大事な問題です。また参加したいと思います。

② 今後の学習会テーマについて

・「省エネ」をテーマに、公共交通と通勤車両削減との関係について学習したい。「市民が抱くアイデア提供の場」に！

・個人の意見や資料を発言しても何も考え方をかえない。もっとやわらかい考えはないのですか？

・AIで我々の生活はどう変わるのか？リニア化による残土、地下水、〇〇対策は？

・自転車が安全・安心に走れる町づくり。

・すべてを重視すること、

・公共交通について早く実施してほしい。

・三重大の立花義裕先生の話を知りたい。

・このような機会は、行政がリーダーシップをとり、市民と定期的な学習会をしてほしい。

・公共交通について、オンデマンドバスを導入してほしい。